

FUKUOKA DESIGN AWARD 2006

福岡産業デザイン賞受賞商品集

福岡県産業デザイン協議会・福岡県



ごあいさつ



福岡県知事

麻生 渡

「福岡産業デザイン賞」も今年で8回目を迎え、年々、企業とデザイナーとの協働による商品が増える中で、商品開発にデザインを活かす「福岡産業デザイン賞」の趣旨が定着してきていることを大変うれしく思います。

本県は、日本有数のデザイン事務所集積地であるとともに、多くのデザイン関連教育機関にも恵まれ、デザインに関する大きな潜在能力を持っています。一方、県内企業においては、高度なものづくりの技術が蓄積されています。企業が、激化する国際競争を勝ち抜き、さらに繁栄していくためには、高度な技術と、機能的・安全性などの観点からものづくりをとらえたデザインを結びつけ、付加価値の高い商品開発を進めることが重要です。このような認識のもと、本県においては、商品開発におけるデザイン活用を推進し、県内企業の競争力の強化を支援するため、福岡県産業デザイン協議会と連携して事業を進めています。

今年度、福岡県・福岡県産業デザイン協議会では、株式会社アサヒコーポレーション様に特別企業表彰「グッドビジネス賞」をお贈りいたしました。この賞は、経営にデザインを導入することでグッドビジネスを実現するなど県内企業にとってモデルとなるような取り組みに対してお贈りするもので、第2回福岡産業デザイン賞において大賞を受賞された高齢者向高機能靴「快步主義」を累計250万足を超えるヒット商品に育て上げたことが評価されたものです。

今後とも、企業とデザイナーとの連携を通じて、福岡県からこのような素晴らしいヒット商品が数多く生み出されることを期待しています。



福岡県産業デザイン協議会

会長 水口 敬司

「福岡産業デザイン賞」は、県内企業のデザインの優れた商品を表彰・推奨し、デザインをもっと身近な経営資源として活用していただくため、平成11年より実施しているものです。8回目となる今回は、例年にも増してレベルの高い商品が多く、デザインへの関心の高まりを感じております。また、昨年度に引き続き、賞に併せノミネート商品展示会を開催し、多数の来場者を迎えることができました。

今日のように、ものがあふれる時代においては、消費者をひきつける個性的で魅力ある商品の開発が求められます。特別企業表彰「グッドビジネス賞」を受賞された株式会社アサヒコーポレーションに見られるように、よいデザインはビジネスの成功をもたらします。依然厳しい経済状況が続く中で、地域企業が発展していくためには、デザインを経営資源として位置づけ、戦略的に活用していくことが、益々重要になっていくと考えております。

今後とも、「グッドデザイン イズ グッドビジネス」を推進するため、本県におけるデザイン振興の中核組織として、企業とデザイナーとの活発な交流を促進し、デザインの戦略的活用に向けて支援して参りますので、皆様のご支援、ご協力をよろしく願いたします。

福岡産業デザイン賞審査委員

審査委員	委員長	森田 昌嗣 氏	デザインディレクター	九州大学大学院芸術工学研究院 教授
	委員	池田美奈子 氏		九州大学大学院芸術工学院 助教授
		大歯 滋喜 氏		福岡県産業デザイン協議会 企画専門委員長 昭和鉄工 株式会社 専務取締役
		かねこしんぞう 氏		グラフィックデザイナー 有限会社 インデックス・コムズ 代表取締役
		楠林 拓 氏		近畿大学産業理工学部 建築・デザイン学科 講師
		中村 治二 氏		松下電器産業 株式会社 パナソニックデザイン社 参事
		松岡 恭子 氏		建築家 株式会社 スピンガラス・アーキテクト 代表取締役
ゲスト審査委員		原 研哉 氏		グラフィックデザイナー 武蔵野美術大学教授 株式会社 日本デザインセンター 代表取締役

受賞商品一覧

賞名	商品名	企業名
----	-----	-----

⑤ 大賞

大賞	八女手漉き和紙 プリーツ加工紙	松尾和紙工房
----	-----------------	--------

⑤ 優秀賞

地域文化賞	博多織草木染献上ストール及び服・帽子	西村織物(株)
マテリアル賞	メジャーローブフィット	(株)東和コーポレーション
テクノロジー賞	アサヒメディカルウオーク	(株)アサヒコーポレーション
環境・福祉賞	CFG・積木クッション	(合)日栄紙工社
ライフスタイル賞	SEPA シリーズ	(株)リーフライト
インターフェイス賞	エコロジー工作キットシリーズ	(株)イーケイジャパン

⑤ ゲスト審査委員賞

日用品部門	コットン・ド・メメ ガーゼベビー用品「花染めシリーズ」	coton de mémé (コンドメメ)
-------	-----------------------------	-----------------------

⑤ 奨励賞

日用品部門	真空管ヘッドホンアンプ	(株)イーケイジャパン
	フォルダー名刺箱	上村紙業(株)
	レモンガラスのハミガキ	(株)オフィス K
	コットン・ド・メメ ガーゼベビー用品「花染めシリーズ」	coton de mémé (コンドメメ)
	かすりビーンズ	ジュンコンサルタント 山永順一
	蛇口一体型浄水器 みず工房 コンバージェンス	(株)タカギ
	やわらか鶏(もも肉)、やわらか豚…医療介護食用	日本鮮食(株)
	あんしんなタオルシリーズ～ギフト～	宮原タオル(株)
家具・インテリア部門	SHISUKA (シスカ)	(株)アダル
	サカイリブ 風のドルフィン01-D	(株)サカイ
	ONDAシリーズ	(株)丸庄
産業・商業用商品部門	剪定ノコ 幸村	(株)アグリス
	メカニカル ランタン	空研冷機(株)
	節水エコキャップ	(株)久我タイヤセンター
	エマサイン	昭和鉄工(株)
	リディック	(株)テムザック
	ジャスパーシリーズ EJ10 ついてくるか～い	(株)筑水キャニコム
地域産品部門	stool 侘 wabi	(株)添島勲商店
	HAKATA GENKAIJIMA WEAVE	日本の島425プロジェクト
医療・福祉・教育用商品部門	ユーディーエッグ仕切皿、ユーディーボールシリーズ	九州セラミックス工業(株)
	wooper ウーパー	(株)チクモク

⑤ 県内デザイナー×県外企業部門賞

特別部門	ほんなこつデコボン 火の国ほん酢	ホシサン(株)
------	------------------	---------

総 評

8回目を迎えるデザインを活用した商品開発の促進を目的とした本表彰制度は、昨年度を超える112件(87社)の応募がありました。今回も過去の応募や受賞実績を踏まえた企業からの優れた商品等の応募とともに、はじめての企業からも多数の質の高い応募があり、これまで以上に白熱した審査となりました。

審査の選定基準は、これまでと同様の「商品の市場性」「地域産業への影響力」「デザインの独創性・新規性・先導性」ですが、今年度から公開審査における部門と優秀賞のテーマを分けた審査を行いました。公開審査での部門は、商品等の使用区分による5区分(日用品、家具・インテリア、産業・商業向け商品、地域産品、医療・福祉・教育向け商品)に分け書類および実物、概要パネルなどによって審査を行いました。選定は、審査区分に関係なく上位の中から奨励賞、下記の6テーマに対応した優秀賞、そして大賞を選ぶ方法を採用しました。また、今回の表彰は、新たにゲスト審査員賞、県内デザイナーと県外企業との協働による特別部門賞が加わりました。審査員は、半数以上の委員の交替を行い、ゲスト審査員の原研哉氏を含めた9名で行いました。

1次審査は、各応募内容の確認と書類審査、そして2次の公開審査用の5区分の部門分けを行いました。2次審査は、1次審査での事前資料を基に各審査員が実物やパネル等を照査して入賞候補案を仮選定した後、審査委員が公開審査部門別に分かれて、応募商品説明を受けながら審査委員からのコメントを含めた質疑応答による詳細な公開審査を行いました。その後、公開審査結果を踏まえての審査員による協議を経て、評価が高かった28件の入賞候補案を選定しました。

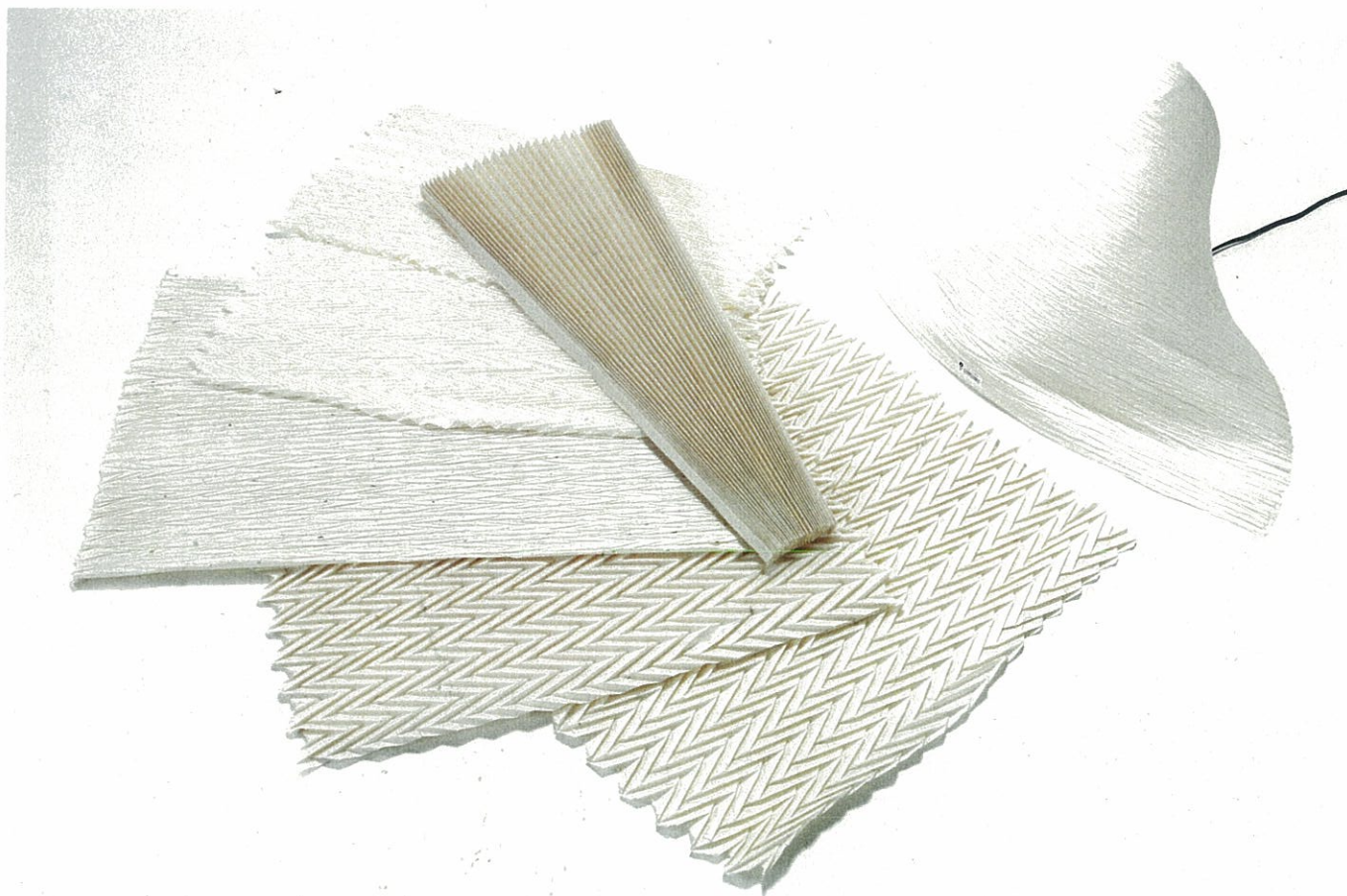
今回は、最初の協議によりまず奨励賞候補21件を選定した後、テーマ別の優秀賞候補7件を選び、その中から最優秀である大賞1件を選定しました。

今年度の大賞には、400年以上の歴史がある八女の手漉き和紙に半立体パターンを施した「八女手漉き和紙ブリーツ加工紙」が選ばれました。日本の伝統素材の和紙を、加熱処理によりブリーツ加工した本商品は、これまでの平面状の和紙の独自の味わいに加え、陰翳を醸し出す他に類のない新しい表情が創られ、照明器具のシェードへの活用以外にもインテリアなどへの多様な商品展開の可能性を拓いていることなど、審査員全員から特に高い評価を得ました。

大賞候補として最後まで競ったのが、技術面や性能面が優れている商品・製品などに与えられる優秀賞のテクノロジー賞に選ばれた「アサヒメディカルウォーク」です。この商品は、過去に大賞を受賞した同社のヒット商品「快步主義」に次ぐ健康靴の開発商品であり、健康の源である「歩く」機能性を産学連携によって探求して生みだされたことが高く評価されました。工芸的価値があり、地域に貢献している地域文化賞は、「博多織草木染献上柄ストール及び服、帽子」です。この商品も、過去に受賞歴のある「博多織草木染」に博多織の献上柄を織り込んだシリーズ商品であり、商品としての完成度の高さが評価されました。また、過去に受賞歴のあるデザイン事務所が手がけた「ソーラー照明:SEPAシリーズ」は、太陽電池とLED光源を洗練されたスタイルにまとめ、屋外での新しいライフスタイルを提案している商品としてライフスタイル賞を受賞。そして、牛乳パックなどを再利用しハイテクキットと組み合わせてソーラーカーやリモコンカーを制作することで「環境」を学ぶ、まさにユーザーとのインターフェイスに優れているインターフェイス賞に選定された「エコロジー工作キットシリーズ」も、過去に受賞歴のある企業が受賞しました。

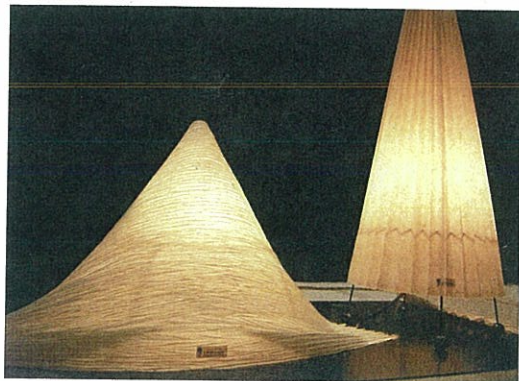
一方、ビジネスの可能性を広げ、その波及効果が大きいマテリアル賞の「メジャーロープフィット」と、地球環境にやさしい、生活福祉の向上につながる製品に与えられる環境・福祉賞「CFG・積み木クッション」の企業が、今回、はじめての優秀賞に選ばれました。「メジャーロープフィット」は、滑りにくさと作業性向上を両立させる商品に結実したことが、「CFG・積み木クッション」は、段ボールを積層させ運送時に必要最小限の緩衝用クッション等となる、包装材を軽量、コンパクト化した画期的な資材開発が高く評価されました。審査部門別では、最も応募件数(40件)が多かった日用品部門での優秀賞2件(テクノロジー賞とマテリアル賞)をはじめ8件の奨励賞が、家具・インテリア部門は、例年に比べやや低迷で、21件の応募で3件の奨励賞にとどまりました。産業・商業向け商品部門は、応募件数(25件)に比べ、2件の優秀賞(ライフスタイル賞、環境・福祉賞)と6件の奨励賞を、応募件数がやや少なかった(15件)地域産品部門は、大賞と優秀賞(地域文化賞)に加え2件の奨励賞が受賞し、同様に応募が少なかった(11件)医療・福祉・教育向け商品部門も、優秀賞(インターフェイス賞)と奨励賞1件の受賞となりました。大賞、優秀賞、奨励賞の受賞率は、全体で25%(受賞28件/応募112件)、部門別では、産業・商業向け(32%)、地域産品(約27%)、日用品(25%)、医療・福祉・教育(約18%)、家具・インテリア(約14%)の順となりました。第8回福岡産業デザイン賞は、今年度も応募商品等のレベルが向上し、特に産業・商業向け商品、地域産品、日用品の各部門は、大賞や優秀賞を含む受賞率の高さからも、過去の受賞状況や実績を踏まえデザイン活用による質の高度化が成果に結びついたといえます。デザイン活用とは、ユーザーの観点からのものづくりであり、生活イメージを機能と感性の融合によって商品などに具現化し事業に結びつけることです。各部門ともに、過去に優れた受賞実績がある家具・インテリア産業が今回は受賞率が低かったですが、福岡の地域産業のデザイン活用による質的牽引役を担える企業が増えてきたことが、継続的な本事業の役割と果たしているといえます。来年度も、これまで以上にデザイン活用による商品開発への積極的な取り組みにより、福岡から日本、そして世界へ発信できる地域ブランド創成に向けた多数の応募を期待しております。

審査委員長 森田昌嗣 (九州大学大学院芸術工学研究院 教授)



商品名 八女手漉き和紙 プリーツ加工紙
 企業名 松尾和紙工房
 〒834-0033 八女市柳瀬681-2
 代表 松尾茂幸
 TEL 0943-23-3786

デザイナー 筑後文化村
 〒830-0031
 久留米市六ツ門町8-12 久留米井筒屋
 村長 島添正信
 TEL 0942-31-8576

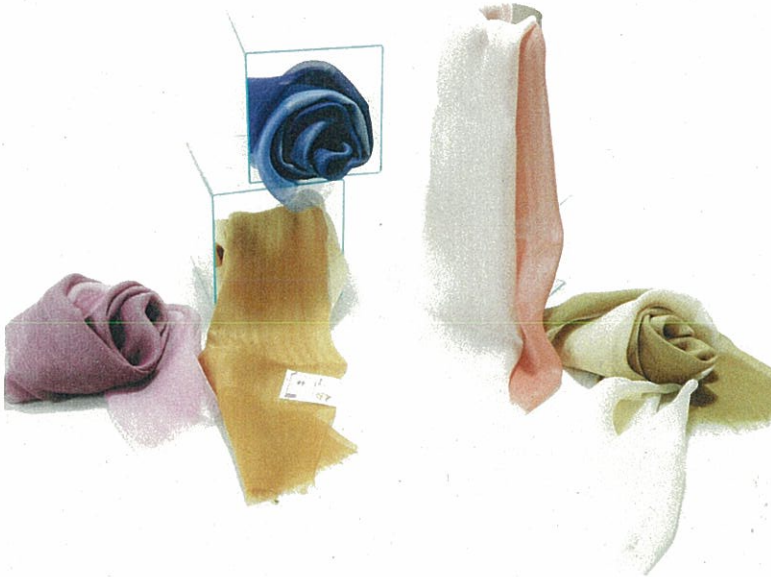


〈審査講評〉

日本の伝統素材であり400年以上の歴史がある八女手漉き和紙に、半立体のプリーツ加工を施すことで新たな和紙の可能性を引き出した秀作である。八女手漉き和紙は、郷土が誇る伝統的な地場産業として一部の間屋への流通にとどまっておろ、広く現代生活に活かされているとはいえないのが現状である。そこで、古来からの手漉き和紙の風合いや手触り感、陰翳の美しさなどを損なうことなく、従来の和紙のイメージから脱皮し多様な現代生活に取り入れられる素材開発として本加工紙が創りだされた。

これまで、デザイナーやクリエイター達が和紙の質感を生活用品やインテリアに応用してきているが、あくまで平面の和紙の活用の範囲であった。この加工紙は、和紙を加熱処理することによりプリーツ状の半立体のパターンをかたちづくる画期的な素材であり、これまでの平面表現に特化された和紙のあり方を変えさせるものである。伝統的な和紙の質感を生活者の視点からくみかえた開発コンセプトが高く評価されるとともに、和が培ってきた美を現代に継承する技に結実したことが大賞に値する。また、この加工紙の展開例に今回、ランプシェードが試作されていたが、和紙を半立体に加工するこの技は、ランプシェードにとどまらず、今後多くのデザイナーやクリエイターの創作意欲をかき立て、和の新たなかたちと多様な生活シーンを創りだす可能性を有していることも意義深く、伝統産業ビジネスへの発展を予感させる。 【森田昌朗】

地域文化賞



商 品 名 博多織草木染献上ストール及び服・帽子
 企 業 名 西村織物 株式会社
 〒818-0061 筑紫野市紫7丁目3-5
 代表取締役社長 西村聡一郎
 TEL 092-922-7038 FAX 092-925-2925
 URL <http://www.oriya-nishimura.co.jp/>
 E-mail info@oriya-nishimura.co.jp

〈審査講評〉

博多織の原点ともいえる五色五行の献上柄をストール柄に織り込み、帯の博多織の伝統柄をアパレルの博多織に展開した商品群。本商品群は、第4回（平成14年度）の優秀賞、第6回（平成16年度）の奨励賞を受賞した、伝統的な博多織のシルク生地を使用した肌触りを重視した生地の開発による草木染めのスカーフ、ウェア等商品群に、伝統的な献上柄を取り入れて、さらなる新しい分野へ商品の可能性を引き出していることが高く評価された。特に、博多織帯の技と美をストールなどのアパレル分野へ継続的に取り組んでいく開発姿勢は、伝統地域産品を持続的な産業につなぐ優れたビジネス展開としても高く評価された。

【森田昌嗣】

マテリアル賞



商 品 名 メジャーローブフィット
 企 業 名 株式会社 東和コーポレーション
 〒830-0047 久留米市津福本町227番地
 代表取締役社長 松信和隆
 TEL 0942-32-8355 FAX 0942-38-3527
 URL <http://www.towaco.co.jp/>
 E-mail info@towaco.co.jp

デザイナー 株式会社 クサビSPシステム
 〒540-0026 大阪市中央区内本町2丁目3番8号
 大蔵一暢

〈審査講評〉

作業用の手袋のデザイン性を考える時、機能性が必然的にちゃんとしたカタチになっていて、なおかつその意図とするデザインがなされていると、使う側の立場でいうとうれしいものがある。そのような商品としてこの「メジャーローブフィット」は評価できる。作業手袋の外側の滑り止め機能に加えて内側にも滑り止め性能を付与した商品性に、カラーデザインとブランドマークロゴが整理してレイアウトされていて、「モノ」をがっちりつかむという安心で安全という機能的な商品イメージが十分発揮されていた。作業用の手袋というけっして派手じゃない商品が今回のようなデザイン力をもつという商品開発は将来が楽しみである。

【かねこしんぞう】

テクノロジー賞



商 品 名 アサヒメディカルウォーク
 企 業 名 株式会社 アサヒコーポレーション
 〒830-8629 久留米市洗町1番地
 代表取締役社長 安部善博
 TEL 0942-37-1061 FAX 0942-36-0475
 URL <http://www.asahi-shoes.co.jp/>
 E-mail question@asahi-shoes.co.jp

〈審査講評〉

「健康」を真摯に追求することから生まれた必然的なデザインには強い説得力がある。健康志向の高まりに伴うウォーキング人口の増加というポジティブな面を促進し、その一方で懸念される膝のトラブルという負の側面の解消を図る課題解決型のデザインを理想的なプロセスで実現している。医療機関、大学との共同開発のプロセスを経て、医学的な知見と自社の靴づくりの技術やノウハウを融合させた成果が「アサヒメディカルウォーク」の靴底に埋め込まれたオレンジ色の特殊ゴム弾性体である。

この小さな特殊ゴム弾性体ひとつによって、歩行時の下肢の正しい動きが見事にコントロールされ、膝への衝撃が分散吸収される様は感動的とも言える。また、扱いやすさの面では、特殊な靴底のため特に修理可能性が危惧されるが、正しいフォームで歩行することにより、靴底の摩耗そのものが防げることから、ほとんど問題になることはないと言う。このように耐久性のある扱いやすい製品であるとともに、膝のトラブルを未然に防ぐという点で、高齢化社会における健康寿命を押し上げる効果が期待できるデザインである。 【池田美奈子】

環境・福祉賞



商 品 名 CFG積木クッション
 企 業 名 合資会社 日栄紙工社
 〒802-0085
 北九州市小倉北区吉野町12番16号
 代表者 宮崎義人
 TEL 093-921-8785 FAX 093-922-5170
 URL <http://www.nichiei-shiko.co.jp/>
 E-mail nichiei-shiko@office.email.ne.jp

〈審査講評〉

商品等を輸送時に保護する、軽量、コンパクトに梱包する事が可能な包装資材である。梱包する対象物の大きさ、重量を考慮し、各々の特性に合わせた設計により様々な立体的な形状を作ることができる。軽量、コンパクトである事により女性でも安全に作業に従事できること、更に過度の大きさ、重量にならず輸送燃料軽減が可能であり、輸送費を削減する事もできる。材料はダンボールでありリサイクルも容易であるなど、資源の有効活用という観点からも環境・福祉賞に充分値する商品であると高く評価された。 【中村治二】

ライフスタイル賞



商 品 名 SEPAシリーズ
 企 業 名 株式会社 リーフライト
 〒816-0924 大野城市栄町3丁目1-24
 代表取締役 瀬川美子
 TEL 092-584-0150 FAX 092-588-8560
 URL <http://www.leaflight.co.jp>
 E-mail segawa@leaflight.co.jp

デザイナー 株式会社 ビー・エー・デザイン
 〒810-0001 福岡市中央区天神3丁目11-22 CSビル3F
 徳永 明

〈審査講評〉

パネル面を水平設置する意匠に挑戦しており太陽電池パネルの存在は全く感じない。水平設置による発電効率の低下は新しい電気回路などで補償しており意匠の犠牲にはなっておらず、また一体化された光源部と支柱はアルミ材で成型されておりアルミ材の軽快さを活かしたスッキリとした仕上がりとなっている。

生活空間にさりげなく存在することができ、とにかく、景観に自然に溶け込むデザインである。都市設計を含めたライフスタイルの新しい提案として新鮮さを感じた。
 【平田敬一郎】

インターフェイス賞



商 品 名 エコロジー工作キットシリーズ
 企 業 名 株式会社 イーケイジャパン
 〒818-0105 太宰府市都府楼南2丁目19番30号
 代表取締役 井口秀実
 TEL 092-923-8230 FAX 092-923-8237
 URL <http://www.elekit.co.jp>
 E-mail info@elekit.co.jp

〈審査講評〉

小学校低学年から上級者までを対象にした、工作キットシリーズで長年に亘り、多様な商品開発に取り組む企業姿勢が高く評価されての受賞である。今回も3種類の提案があり、いずれも高い評価を受けたがこの度は、小学校低学年から高学年を対象にした工作キット、牛乳パックで造る有線「リモコンカー」や、貯金をするたびにメッセージをしゃべる牛乳パック製の「貯金箱」、ペットボトルをボディにした「ソーラーカー」などの工作キットシリーズが、リサイクル、太陽光によるクリーン発電などに触れさせることで、環境を考えるきっかけとなることを目指した商品開発のコンセプトと、商品全体のバランスがとれている点が評価された。

「自分で組み立てる」ことに、こだわりながらの商品開発に更なる努力をされ、次は、何が出てくるかと期待する向きにも荒々しくかつ、力強い商品で答えて欲しい。
 【大歯滋喜】

ゲスト審査委員賞・日用品部門奨励賞



ゲスト審査委員 原 研哉 氏
(株)日本デザインセンター 代表取締役

1958年生まれ。グラフィックデザイナー。武蔵野美術大学教授。日本デザインセンター代表取締役。コミュニケーションの視点から、諸感覚を覚醒させるデザイン、日常を新鮮にとらえ直すデザインを展開。長野オリンピックの開・閉会式プログラムや愛知万博の初期プロモーションなどを手がけるほか、病院や美術館のサイン計画など、公共のヴィジュアル・コミュニケーションの仕事も多い。2002年より無印良品のアートディレクションを担当、2003年はその広告キャンペーンで東京ADC賞グランプリを受賞。一方で「Re-Design-日常の21世紀」「HAPTIC-五感の覚醒」など展覧会と書籍を基軸とした複合プロジェクトを数多く手がけ「Re-Design」は世界インダストリアルデザインビエンナーレで大賞を受賞。

また、近著「デザインのデザイン」(岩波書店)は第26回サントリー学芸賞を受賞している。



 ゲスト審査委員賞と  奨励賞のダブル受賞

商品名 ガーゼベビー用品「花染めシリーズ」
 企業名 coton de mémé (コトンドメモ)
 〒819-0013 福岡市西区愛宕浜4-6-13
 代表 宮崎順子
 TEL 092-891-4567 FAX 092-891-4567
 URL <http://www.coton-de-meme.com/>

デザイナー atelier de la paix (アトリエ ドラペ)
 (タグデザイン) 〒815-0071 福岡市南区平和1-24-1
 鹿児島 睦

〈審査講評〉

ガーゼベビー用品「花染めシリーズ」。まずは、その優しさが伝わる作品だった。赤ちゃんや幼児や高齢者向けの安全や健康志向の幾多の商品が氾濫している中で、本当にその意図が伝わる商品にはなかなか出会うことができない中で、この商品を見た瞬間に本質的なところが表現されていることが見て取れた。基本商品は白色のガーゼを材料とした商品であるが、今回の新商品はバラで染められたピンクと、あじさいで染められた水色の2色のミトンやバス、ボディ、ハンドタオル。丁寧な縫製とタグなどの商品回りのデザイン性はマーケットを構成している若いお母さんの市場に応える魅力を持っているところが高い評価をうけた。

【かねこしんぞう】

日用品部門



商品名 真空管ヘッドホンアンプ
 企業名 株式会社 イーゲイジャパン
 〒818-0105 太宰府市都府楼南2丁目19番30号 代表取締役 井口秀実
 TEL 092-923-8230 FAX 092-923-8237
 URL <http://www.elekit.co.jp>
 E-mail info@elekit.co.jp

審査講評 真空管アンプといえば趣向性が高い高級オーディオとして一部に根強いファンを持っている。その真空管アンプを手軽に作れるキットとして商品化された作品である。機能的にはヘッドホンで聴くためのパワーアンプとして、また小音量ながらミニパワーアンプとして使用できるアンプキットで、今回の作品は組み立てが容易にできるようにあらかじめハンダ付けがなされている基板が採用されている。真空管アンプの特徴はメカニクスが単純でなおシンプルである点にある。フロントに大きなボリュームがあり、2個の対の真空管の後部に盛り上がった出力トランスのパーツとが、なんとなく可愛いおもちゃの「くるま」といったシルエットになっていて、偏ったマニアックなイメージをなくすことに成功している。
 【かねこしんぞう】

日用品部門



商品名 フォルダー名刺箱
 企業名 上村紙業 株式会社
 〒803-0845 北九州市小倉北区上到津3丁目4番1号 代表取締役 上村篤弘
 TEL 093-651-2881 FAX 093-652-2203
 URL <http://www.uemura-shigyo.co.jp>
 E-mail assistant01@uemura-shigyo.co.jp

審査講評 100枚の名刺を使い切ったら捨ててしまうパッケージに、非常にシンプルな方法で“第二の人生”のチャンスを与えたデザインだ。パッケージを再利用させる工夫はほかにも数多く見られるが、この製品の特徴は、名刺の流通、使用の一連の流れにそって合理的に無理なく再利用を促しているところである。また、環境に配慮した素材の使用や発送コストを抑える工夫など、デザインの要所に一貫した合理的なコンセプトが反映されている。使い終わった名刺箱は、そのままインデックス付きの名刺整理・保管箱になる。名刺を渡す数と受け取る数が、おおむね同じであることも、このシステムが自然に稼働する一助になるだろう。
 【池田美奈子】

日用品部門



商品名 レモンガラスの歯磨き
 企業名 株式会社 オフィスK
 〒819-0161 福岡市西区今宿東1-19-17 代表取締役 松永勝政
 TEL 092-806-4911 FAX 092-806-4982
 URL <http://www.tsurusara.jp/>
 E-mail office-k@sunny.ocn.ne.jp

デザイナー 鶴田広告事務所
 〒819-0161 福岡市西区今宿2丁目8-12-201 鶴田訓義

審査講評 時間をかけて開発した、食べても大丈夫な歯磨きという商品特性を、パッケージデザインで分かりやすく伝えようとしている。一時の流行に終わらせない息の長い商品に育てようとの配慮から、生活協同組合のほか、詳細なユーザー説明が可能な販路に絞った丁寧な販売方式をとるというが、細部に気を遣いながら、必要な情報を的確に掲載し、かつ主張しすぎないスタンダードなパッケージデザインがこうした販売方針と合っている。
 【池田美奈子】

日用品部門



商品名 かすりビーンズ
 企業名 ジュンコンサルタント
 〒814-0001 福岡市早良区百道浜4-2-1-1006 代表 山永順一
 TEL 092-833-8808 FAX 092-833-8808
 URL <http://www.h6.dion.ne.jp/~juncons/>
 E-mail juncons@r3.dion.ne.jp

審査講評 レジ袋に装着して持ったときの使用感がよい。適度の弾力性と手のひらに合ったカーブ、久留米かすりの手触りが、この製品の機能性に付加価値を与えている。着脱の容易さ、複数のレジ袋を束ねられる便利さ、手に掲げる、腕にかけるといった何通りかの使い方への対応などの工夫から、重たいレジ袋を持ち帰るというシーンを丁寧にサポートしていることが分かる。よく見れば、このシンプルで小さな製品に技術面の細かなノウハウが詰まっており、手間のかかっていることがうかがわれるが、こうした製品の特徴を生かした適切なブランディングを行うことで、さらに消費者に訴求していくことができるだろう。
 【池田美奈子】

日用品部門



商品名 みず工房 コンバージェンス
 企業名 株式会社 タカギ
 〒802-8540 北九州市小倉南区石田南2丁目4-1 代表取締役 高城秀雄
 TEL 093-965-1237 FAX 093-962-8876
 URL <http://www.takagi.co.jp>

審査講評 普通の水道蛇口に見えて、実は浄水器の機能が付いている。そんないたって便利できれいな水が飲めるという利便性に、先端部分が浄水器付きでホースを伸ばしてシャワーになるという、多様な機能をシンプルにまとめ上げたデザインである。近年システムキッチンのデザイン性が高まって大きな流れができつつあるキッチン周りの周辺機器も同様に高いレベルのデザイン性が求められており、高機能ハイデザインの商品としては大変優れた企画力を持っている点が評価された。
 【かねこしんぞう】

日用品部門



商品名 やわらか鶏(もも肉)、やわらか豚…医療介護食
 企業名 日本鮮食 株式会社
 〒819-1631 糸島郡二丈町大字深江2143番地3 代表取締役 梅田隆平
 TEL 092-325-1278 FAX 092-325-1630
 URL <http://www.nihon-sensyoku.co.jp>
 E-mail asari-y@galaxy.ocn.jp

審査講評 この福岡産業デザイン賞の特徴に、表面的なデザインだけではなく、その商品が持っている新しい市場を予感させる企画力も対象としている点がある。日用品部門で奨励賞を獲得したこの「やわらか鶏、やわらか豚」は高齢者や障害をもった方や歯に異常がある方々に、いわゆるゼリー状にされた介護食品ではなく、かたちや色は鶏や豚肉そのまま、香りや触感が材料の特徴を保ちながら柔らかく加工を施した商品である。シリーズ商品として「骨ごと食べられる魚シリーズ」や「鯛めし」などが出品されたが、総合的な商品企画力が光った作品であった。
 【かねこしんぞう】

日用品部門



商品名 あんしんなタオルシリーズ〜ギフト〜
 企業名 宮原タオル 株式会社
 〒839-1233 久留米市田主丸町大字田主丸145-2 代表取締役社長 宮原良次
 TEL 0943-72-3232 FAX 0943-72-0345
 URL <http://www.miyahara-t.com/>
 E-mail miyahara@jb3.so-net.ne.jp

デザイナー 垣田健一郎デザイン事務所
 〒810-0041 福岡市中央区赤坂3丁目13-32 垣田健一郎

審査講評 色、タイポグラフィ、素材、形状など、パッケージデザインの各要素に統一感があり、「あんしんなタオル」のブランドを効果的に訴求している。特にグラフィックの完成度が高く、ギフト商品の楽しさ、期待感、思いやりを十分に伝えている点で評価された。また、素材の薄いダンボールは、そのテクスチャーの面白さとともに環境への配慮を印象づけている。メインカラーのオレンジ色については、生成りのタオルの色彩とは調和しているが、一方で「環境配慮」「あんしん」のイメージからは、やや離れているのではないかとの意見も出た。
 【池田美奈子】

家具・インテリア部門

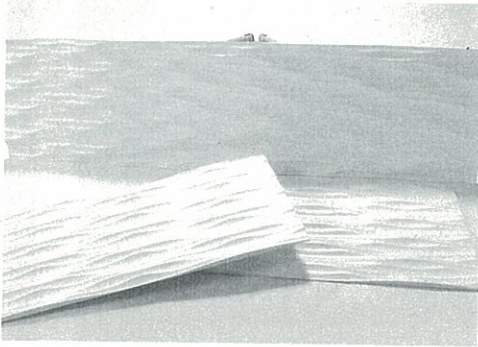


商品名 SHISUKA (シスカ)
 企業名 株式会社 アダル
 〒816-0063 福岡市博多区金の隈3丁目13番2号 代表取締役社長 武野重美
 TEL 092-504-4141 FAX 092-504-3699
 URL <http://www.adal.co.jp/>
 E-mail kikaku@adal.co.jp

デザイナー PRIME DESIGN OFFICE
 〒078-8323 旭川市神楽岡12-7 蛭名紀之

審査講評 本製品は、座り心地と、美しい造形という「機能と造形」を高い次元で両立させたデザインであるところが評価のポイントとなった。近年、大きく改善しつつある日本の住環境の中で、大画面テレビ等の前で部屋の中央に置かれても十分に鑑賞・使用に堪えられるバランスのとれたデザインである。背と座をつなぐ柔らかなカーブを描いた成形合板の部材は、椅子の構造体としての役割だけでなく、ソファーとしての上質感を表わすことに成功している。モダンデザインのスタイルをとりながら、流行に左右されない、落ち着いた雰囲気を持った大人のデザインである点が評価された。
 【楠林 拓】

家具・インテリア部門



商品名 サカイリブ 風のドルフィン
 企業名 株式会社 サカイ
 〒811-0203 福岡市東区塩浜1-27-24 代表取締役社長 堺 道明
 TEL 092-606-7810 FAX 092-608-0090
 URL <http://www.sakairib.com/>
 E-mail sakairib@sakairib.com

審査講評 本出展物は、人工物としての建築の内部空間に、海、砂丘、風紋などの自然の表現を巧みに取込んで、ダイナミックな美しさを表現している点が評価された。表面の凹凸は、複雑な規則に則って変化をしており、自然の造形に見られる「ゆらぎ」を表現して、空間に奥行きと流れを生み出すものと推察される。特に評価したいのは、製品表面の造形性で、ただ単に「自然の表現」や「風紋のレリーフ表現」にとどまらず、深い造形探求を行った成果が現れている点である。今後もこのように内部空間を変化させる造形性の高い壁面素材の開発、ならびに製造方法の開発を期待する。

【楠林 拓】

家具・インテリア部門



商品名 ONDA (オンダ) シリーズ
 企業名 株式会社 丸庄
 〒831-0016 大川市大字酒見543番地 代表取締役 酒見俊郎
 TEL 0944-86-3651 FAX 0944-86-3826
 URL <http://www.k-marusho.jp/>
 E-mail k-marusho@k-marusho.jp

デザイナー 森宣雄デザインルーム
 〒839-0811 久留米市山川神代1丁目4-18 森 宣雄

審査講評 利用されることの少ない、節の多い材を生かす家具のシリーズ。ソファやチェストなど様々なアイテムもそろえているので、利用する空間のイメージがわかりやすい。節をなめらかに浮かせさせた立体的表面は、名前のとおり穏やかな波のようでもあり、あちこち触れてみたくなる。チェアに座っているとき、アームにある節を知らぬ間にずっと触っていることもあるだろう。製品によって節の位置が異なるため、同じものがふたつとないことも、ユーザーの愛着を促すと思われる。生産ラインに乗りつつも、素材を生かしながらひとつひとつ微妙に異なる表情を持っている点、金物を使用せず木そのものの素材感を大切にしている点が評価される。

【松岡恭子】

産業・商業用商品部門



商品名 剪定ノコ 幸村
 企業名 株式会社 アグリス
 〒834-0055 八女市鴻池477-1 代表取締役 中村裕之
 TEL 0943-30-1177 FAX 0943-30-1178
 URL <http://www.aglis.co.jp/>
 E-mail info@aglis.co.jp

審査講評 剪定作業をスムーズ・スピーディに行うために、従来のノコのホルダーの概念を変えた横からの装・脱着及び握りやすいグリップへの配慮が高く評価された。狭い空間での作業を行うには素晴らしいアイデアである。しかしながら、狭く窮屈な姿勢、若しくは、不安定な空間での作業が多く考えられるので、更に脱着時のとり外し易さ・装着への配慮など、工夫をされる事を期待する。 【中村治二】

産業・商業用商品部門



商品名 メカニカルランタン
 企業名 空研冷機 株式会社
 〒823-0013 宮若市芹田586番地 代表取締役社長 成清重信
 TEL 0949-32-1212 FAX 0949-32-1217
 URL <http://www.kuken-ct.co.jp/>

審査講評 空港や駅などの大型の空調対象空間において人の活動域近傍を効果的に空調するシステムで、照明装置など一体型とすることにより、単なる吹き出しダクトではなく意匠性に優れた造形物となり快適な移動空間を提供する商品である。空調設備は、空間が大きくなればなるほど大規模化して行き、それに伴い必要なエネルギーも増大し、かつムダに捨てられるエネルギーも増える傾向にある。本商品は人が移動する空間のみを局所的に空調させ極力ムダなエネルギーを発生させない思想で設計されている。吹き出し空気は直接人の活動空間に出てくるが、不快感を与えないようにダクト内に自走回転翼を設け吹き出し気流が適当なゆらぎを発生させ快適性を与える工夫もされている。 【平田敬一郎】

産業・商業用商品部門



商品名 節水エコキャップ
 企業名 株式会社 久我タイヤセンター
 〒812-0051 福岡市東区箱崎埠頭5丁目1-37 代表取締役 久我眞一
 TEL 092-643-5517 FAX 092-651-0918
 URL <http://www.kuga-tire.co.jp/index.html>

審査講評 水道の蛇口やシャワーヘッド内に装着する節水コマで、実際に使用するときには中に隠れて見ることができないが節水という機能をデザインした商品である。節水効果があっても水の勢いが弱いと食器などが洗いづらかったり、シャワーの感覚も物足りないものになってしまう。節水関連商品は水の流量と流速の関係が重要で、流量を絞りつつ流速を確保する設計は苦勞されたと思う。形状は複雑ではなくコストについても十分検討されており、使用中のメンテナンスの必要もなく使いやすい商品となっている。小さな金属製品であるが、機能を作り込んだ機械的な美しさがあると言って良いのではないが。
 【平田敬一郎】

産業・商業用商品部門

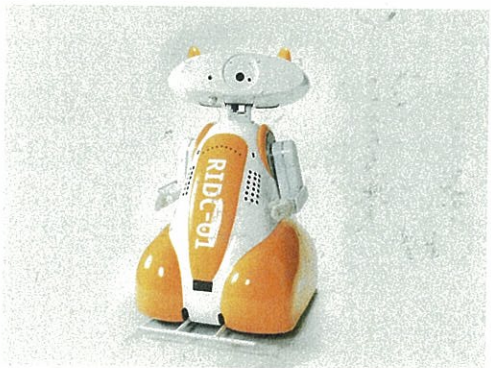


商品名 エマサイン
 企業名 昭和鉄工 株式会社
 〒812-8587 福岡市東区箱崎埠頭3丁目1-35 代表取締役 山本駿一
 TEL 092-713-9378 FAX 092-713-9371
 URL <http://www.showa.co.jp/>
 E-mail hanamure@ken-so.jp

デザイナー 株式会社 ビー・イー・デザイン
 〒810-0001 福岡市中央区天神3丁目11-22 CSビル3F 梅本幸治

審査講評 太陽電池とLEDを使用した独立電源照明付サイン。シンプルですっきりとしたデザインが評価された。電源工事が困難な場所にも設置できるなど種々の状況を考慮した商品に仕上がっている。緊急時での対応は尋常ではない状態が想定されるため、ミニマムな形態にまともまってはいるが、避難者に、この位置をどうすれば知らせる事ができるか等新たな配慮が次のステップでは期待される。
 【中村治二】

産業・商業用商品部門



商品名 案内・清掃サービスロボット「RIDC-01(リディック)」
 企業名 株式会社 テムザック
 〒803-0851 北九州市小倉北区木町1-7-8 代表取締役 高本陽一
 TEL 093-581-3520 FAX 093-581-3521
 URL <http://www.tmsuk.co.jp/>

デザイナー 株式会社 モノリス
 〒802-0081 北九州市小倉北区紺屋町11-6ウラシマビル3F シモダユウスケ

審査講評 ロボット産業振興会議(事務局:福岡県、北九州市、福岡市)「ロボットPR事業」により、受注、開発されたものである。人手不足が問題視される中で本格的な実用インタラクション機能が搭載され、操作もゲームなどで用いるジョイスティックを採用するなど、技術者でなくても操作できること、更に形態的には、子供から大人まで多くの人が集う場所に置かれることを想定し、突起のない安全性が考慮されたデザインが評価された。
 【中村治二】

産業・商業用商品部門



商品名 ジャスパーシリーズ EJ10 ついてくるか〜い
 企業名 株式会社 筑水キャニコム
 〒839-1396 うきは市吉井町福益90-1 代表取締役社長 包行 均
 TEL 0943-75-2195 FAX 0943-75-4396
 URL <http://www.canycm.co.jp/>

審査講評 一般家庭でも使える可愛い電動カートである。家庭の中にも、ゴミ出し、買い物、ガーデニングなど結構きつい運搬作業があるが、この運搬作業の負荷を軽減する新しい提案である。この電動カートの操作性は良好でハンドルを前後に軽く倒せば前進後退、離せば停止、自動ブレーキも装備されて安全性も考慮されている。機能面では、荷枠をワンタッチで好みのサイズに変更でき使用目的、使用環境に柔軟に対応でき家庭以外でも流通業、工場、農業などで使えるマルチユース設計となっている。デザインは丸みをおびた優しいデザインで家庭での使用も違和感のない仕上がりになっている。
 【平田敬一郎】

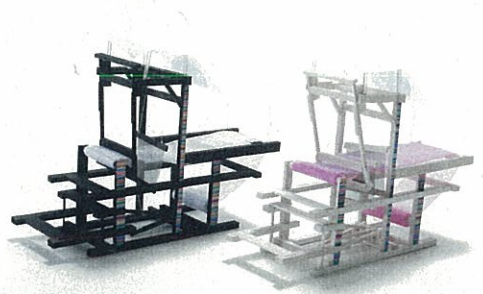
地域産品部門



商品名 stool 侘 wabi
 企業名 株式会社 添島勲商店
 〒831-0014 大川市中木室23-1 代表取締役 佐々木 徹
 TEL 0944-88-1141 FAX 0944-88-1503
 URL <http://www.soejima.com/>
 E-mail info@soejima.com

審査講評 畳・い草の肌触りを現代的なスツールに用いた商品。添島商店は、これまでも積極的に畳・い草のデザイン活用を推進している企業である。伝統地域産品のい草のデザインの可能性を柄や色づかいにより商品化するとともに、今回は、家具へ応用した一つの商品である。木を用いた簡潔な構成に、多彩な畳の組み合わせによって、置かれる場の多様なシーンを創出することができる秀作として評価された。特に、畳特有な張り替えるまたは取り替える性能をスツールに適用した和の知恵の活かし方に地域産品ならではの技を感じた。
 【森田昌嗣】

地域産品部門

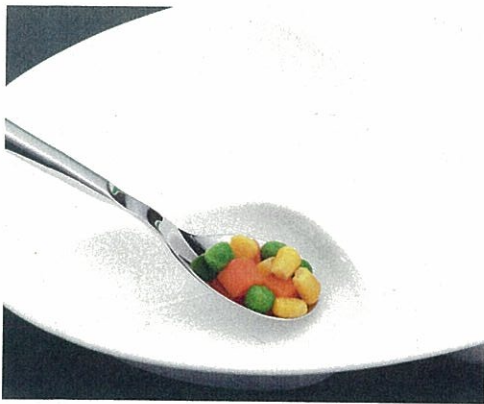


商品名 HAKATA GENKAIJIMA WEAVE
 企業名 日本の島425プロジェクト
 〒810-0023 福岡市中央区警固1丁目4-18 笑門ビル内 代表 平松 暁
 TEL 092-724-3587 FAX 092-724-3587
 E-mail shima-moyou@joy.ocn.ne.jp

デザイナー 平松暁デザイン総合事務所 有限会社パトツウ
 〒810-0023 福岡市中央区警固1丁目4-18 笑門ビル 平松 暁

審査講評 昨年、特別賞を受賞した福岡沖地震で大きく被害を受けた玄海島の復興を応援するデザイン活動の新たな展開。昨年の特別賞は、記憶に残すメッセージを玄関島復興祈願商品群に託し、その商品の売り上げの約1割を「島基金」として1年間支援する活動が高く評価された。そして今回、「島基金」を、この博多織の手機織の制作にあて、小学校に設置することで子ども達の郷土愛と未来への橋渡しとする、玄海島復興ゆめ文化プランの実現に向けた取り組みが評価された。
 【森田昌嗣】

医療・福祉・教育用商品部門



商品名 ユーディエッグ仕切皿、ユーディボールシリーズ
 企業名 九州セラミックス工業 株式会社
 〒836-0004 大牟田市大字手鎌318番地の2 代表取締役 田畑博幸
 TEL 0944-53-1330 FAX 0944-53-1577
 URL <http://user.ariakenet.com/~kyucera/>
 E-mail ceramate@siren.ocn.ne.jp

審査講評 介護支援用の食器である。高齢者や手の不自由な方が使いやすい形状を追求した食器、食材が逃げないように食器の片側に反りがつけてある。食器の向きをかえることで、左手でも、右手でもしっかりと食材をすくえるように食器につけられた反りが働くように工夫されている。皿の造形も自然で、色もパステルカラーで明るく気持ちよくまとまっているところが評価された。また、素材は強化磁器で割れにくく、電子レンジも使える。
 【大歯滋喜】

医療・福祉・教育用商品部門



商品名 wooper ウーパー
 企業名 株式会社 チクモク
 〒812-0051 福岡市箱崎埠頭4丁目2-21 代表取締役社長 加藤慎一郎
 TEL 092-651-1161 FAX 092-651-1165
 E-mail cuckoo@chikumoku.co.jp

デザイナー 東京学芸大学 美術教育専攻 助教授 鉄矢悦朗
 近畿大学 産業理工学部 助教授 金子哲大
 近畿大学大学院 布川陽子

審査講評 木を薄くスライスした「突き板」は、鉄で自由に裁断し、造形できる自然素材である。天然の「突き板」は、当然のことながら年輪があり、反る、割れる、呼吸するといった自然の木材の特徴が顕著に表われる素材であり、この「突き板」に触れることで自然への思いを深くできる。その「突き板」のサイズを標準化することで、安価で入手が容易な商品として、小学校から大学までの教育現場、更には一般家庭にまで本物の木材の味わいを広げ、循環、環境を考えようとする活動が評価された。
 【大歯滋喜】

特別部門



商品名 ほんなこつデコボン 火の国ぼん酢
 企業名 ホシサン 株式会社
 〒861-8007 熊本市龍田弓削1丁目28番8号 代表取締役社長 古荘寛治
 TEL 096-338-1100 FAX 096-338-4223
 URL <http://www.hoshisan.co.jp/>
 デザイナー 株式会社 丸信
 〒839-0813 久留米市山川市ノ上町7-20 国島啓子

※特別部門賞は福岡産業デザイン賞応募企業の投票により決定しました。



特別企業表彰「グッドビジネス賞」 株式会社 アサヒコーポレーション

福岡産業デザイン表彰式に併せて、特別企業表彰「グッドビジネス賞」の授与を行いました。
 この賞は、経営にデザインを導入することでグッドビジネスを実現するなど県内企業にとってモデルとなるような取り組みに対してお贈りするもので、第2回福岡産業デザイン賞において大賞を受賞された高齢者向高機能靴「快步主義」を累計250万足を超えるヒット商品に育て上げたことが評価されたものです。

FUKUOKA DESIGN AWARD 2006 福岡産業デザインシンポジウム

開催日時:2006年11月9日(木)・10日(金) 会場:ハイアット・リージェンシー・福岡(福岡市博多区博多駅東2-14-1) 主催:福岡県・福岡県産業デザイン協議会



ノミネート商品展、公開審査、表彰式、シンポジウムを行いました。

11月9日(木) ノミネート商品展示会・シンポジウム
 12:00~19:30 ノミネート商品展示会
 14:00 受付
 15:00 講演 講師:原 研哉氏
 16:00 各賞発表、表彰式
 16:30 トークセッション
 原 研哉氏 (株)日本デザインセンター 代表取締役
 森田昌嗣氏 九州大学大学院芸術工学研究院 教授
 塚本裕二氏 (株)アサヒコーポレーション 研究開発部 次長
 17:30 交流会
 11月10日(金) ノミネート商品展示会
 10:00~16:00 ノミネート商品展示会
 併設展
 SAJIKA 新作発表展
 久留米井筒屋・筑後文化村 CHIGGO COLLECTION 展



福岡産業デザイン界に虹をかけ新商品開発への未来性をアピールした FUKUOKA DESIGN AWARD のシンボルです。翼をつけたDesign「D」と、ふくおかの「ふ」をシンプルにデフォルメしたもので、地球環境時代の人と社会、人と環境、「モノづくりとデザイン」のバランスとテーマ性を大切にされた模様としてのメッセージ性が込められています。

-  シンボルマーク
-  トロフィー
-  表彰状
-  パンフレット
-  デザイン 平松 暁